

ご縁の「縁」+楽しむという意味の英語「ENJOY」=「縁じょい」つながりながら楽しむという取り組みです。

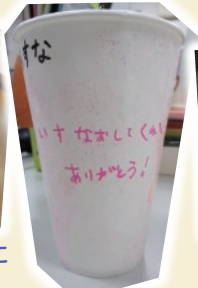
縁じょい通信は 活動への航海図

自分の好きなこと、やりたいことに
向かっていくための航海図を描こう

新年あけましておめでとうございます。まだまだ厳しい寒さが続きますが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。前号では、「新しい生活様式と向き合う」と題し、コロナ禍でも、自分で考えながら活動を続けていくことをテーマにお伝えしました。今号は、好きなことを通して、活動を楽しんでいる方を紹介します。今年も感染予防は万全に、それぞれの活動に向かうための航海図を持って、一緒に「縁じょい」していきましょう!



好きな「もの」でつながる未来



傷ついたイスを修理した宮田さんに
園児からたくさんの「ありがとう」

昨年の2月に縁じょい通信に同封した「保育園の修理ボランティア募集」のチラシを覚えていませんか?そのチラシを受け取った縁じょいメンバーの紹介で、宮田さんに出会いました。

宮田さんは以前、仕事で製品に組み込まれる部品の金型をつくっており、工程の

途中で不具合があれば、納期に間に合わせるため常にチームで協力する「ものづくり」をしてきました。「もの」には、様々なストーリーがあり、大事にすることで愛着が生まれます。宮代台にある「ゴミステーション」も、「ものづくり」が好きな仲間が集まって作った「もの」です。

「夢は、誰でも自由に集まれる工房で、例えば、直したいものを持ち寄り、『ものづくり』が好きな仲間とワイワイ言いながら直したい」と話してくれました。イスを修理する宮田さんの横で、自然と子どもたちがヤスリがけする姿に、宮田さんの想う「ものづくり」を感じました。

さとし
宮田 敏さん (宮代台在住)

皆さんは、ご近所で困ったときに声をかけることはありますか。宮代台には「みどりの会」という宮代台住民の生活の困りごと(自転車のパンク修理、電球交換、パソコン設定など)をワンコイン(500円)で解消する活動グループがあります。今回インタビューした宮田さんも参加し、お互いが地元住民である信頼と安心から、頼み、頼まれやすい関係を作っています。

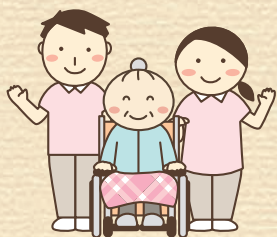


参加の機会
は身近なと
ころに

縁
じょい
通信

学ぼう介護の衣食住

宮代町認定ヘルパー養成研修



令和2年11月4日～6日の3日間で、「学ぼう介護の衣食住(宮代町認定ヘルパー養成研修)」を開催しました。認定ヘルパーとは、介護予防・日常生活支援総合事業における家事援助(買物、調理、掃除、洗濯など)ができる知識、技術があることを町が認定した者をいいます。

今回の研修は、コロナ禍での開催のため、感染症対策を徹底した上で行いました。参加者は10代から70代まで幅広く、「家族のために勉強したい」「介護について知りたい」「地元の高齢者の方のお手伝いができれば」など、まずは自分、家族のために、いずれは周りの方のために学んだことを活かしたいと意欲的に参加していただきました。今後も活動に向けたキッカケとなるよう、取り組んでいきますので、皆様のご参加を心よりお待ちしております。



町長からの新年のあいさつ

縁じょいメンバーの皆様、新年あけましておめでとうございます。

新たな1年が始まりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

「縁じょい」ライフ事業は、身近な活動を応援する事業として、4年目を迎えました。新しい生活様式のなか、一人ひとりが「どうしたら前へ踏み出せるのか」を考え、実行することの大切さを改めて感じています。

まずは、自分のために、自分の好きなことで、新しいことに挑戦していきましょう!

宮代町町長 新井 康之

